

社会福祉法人みどりの町定款

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 障害者支援施設の経営

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 障害福祉サービス事業の経営

(ロ) 障害児相談支援事業の経営

(ハ) 一般相談支援事業の経営

(ニ) 特定相談支援事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人みどりの町という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者、子育て世帯、生活上困難を有する者、経済的に困窮する者等支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を広島県三原市大和町箱川1470番地2に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名以上10名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事2名、事務局員1名、外部委員2名の合計5名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者(租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。)の合計数が、評議員総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結のときまでとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して、1人あたりの各年度の総額が100,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

- 2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。この

場合の支給の基準については、評議員会の決議により別に定める。

第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 事業計画及び収支予算の承認
- (5) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (6) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (7) 定款の変更
- (8) 残余財産の処分
- (9) 基本財産の処分
- (10) 社会福祉充実計画の承認
- (11) 公益事業・収益事業に関する重要な事項
- (12) 解散
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3ヶ月以内に1回開催するほか、3月及び必要がある場合に開催する。

(招集)

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。
- 3 評議員会を招集するには、理事長は、評議員会の日々の1週間前までに、評議員に対して、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面で、その通知を発しなければならない。

(議長)

第14条 評議員会の議長は、当該評議員会において、出席評議員の中から選出する。

(決議)

第15条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第17条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第16条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には、議長及びその会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名が署名し、又は記名押印する。

第4章 役員及び職員

(役員の定数)

第17条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上9名以内

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうちから、社会福祉法第45条の16第2項第2号の業務執行理事として、副理事長1名を置くことができる。

(役員の選任)

第18条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員資格)

第19条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)及び評議員(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第20条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副理事長は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び副理事長は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第21条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第22条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第17条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第23条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第24条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

- 2 理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。この場合の支給の基準については、評議員会の決議により別に定める。

(責任の免除)

第25条 理事又は監事が任務を怠ったことによって生じた損害について社会福祉法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、社会福祉法第45条の22の2において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第113条第1項の規定により免除することができる額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

(職員)

第26条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

第27条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長及び副理事長の選定及び解職

(招集)

第29条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第30条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に事故があるとき又は欠けたときは、他の理事がこれに当たる。

(決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第6章 資産及び会計

(資産の区分)

第33条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産及び公益事業用財産の3種とする。

2 基本財産は、別表に掲げる財産をもって構成する。

3 その他財産は、基本財産及び公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は、第42条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第34条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、広島県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、広島県知事の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

（資産の管理）

第35条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。
- 3 前項の規定にかかわらず、基本財産以外の資産の現金の場合については、理事会の議決を経て、株式に換えて保管することができる。

（事業計画及び収支計画）

第36条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第37条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第38条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第39条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第40条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第41条 この法人は、保有する株式（出資）に係る議決権を行使してはならない。

第7章 公益を目的とする事業

(種別)

第42条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 地域生活支援事業における日中一時支援事業
- (2) 障害者就業・生活支援センター事業

2 前項の事業の運営に関する重要な事項については、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

第8章 解散

(解散)

第43条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの

解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第44条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

(定款の変更)

第45条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、広島県知事の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を広島県知事に届け出なければならない。

第10章 公告の方法その他

(公告の方法)

第46条 この法人の公告は、社会福祉法人みどりの町の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第47条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附則（昭和53年7月27日設立）

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の設立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	岡田	孝裕
理事	河野	省三
理事	高原	俊則
理事	戸井	修
理事	平田	晃
理事	松井	三郎
理事	宗本	正記
理事	品川	浩三

理事	森口	佐市
理事	田原	久夫
理事	加賀美	正孝
監事	五十嵐	二郎
監事	木村	隆紀

附則（昭和58年 6月17日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成 元年 7月 6日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成11年 6月29日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成14年 7月 9日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成16年12月 6日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成17年 4月 8日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成18年 1月26日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する

附則（平成19年 7月13日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成20年 1月30日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成20年 7月 7日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成21年 4月28日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成22年 7月16日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成23年 2月24日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成25年 6月28日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成26年 2月27日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成26年 5月 1日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（平成26年 5月25日理事会決議）

この定款の変更は、平成26年5月25日から施行する。

附則（平成27年 3月14日理事会決議）

この定款の変更は、平成27年3月14日から施行する。

附則 この定款の変更は、広島県知事の認可の日（平成29年1月12日）にかかわらず、
社会福祉法附則第7条第2項の規定により、平成29年4月1日から施行する。

附則（平成30年 3月26日評議員会決議）

この定款の変更は、平成30年3月26日から施行する。

附則（令和元年 5月 8日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（令和 2年 3月 5日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

附則（令和 2年 7月 7日広島県知事届出）

この定款の変更は、令和2年 6月23日から施行する。

附則（令和 3年 8月 2日広島県知事認可）

この定款の変更は、広島県知事の変更認可があった日から施行する。

別表

(1) 土地

所在地	番地	地目	面積 m ²	用途
三原市大和町箱川	1470番2	宅地	15,850.00	建物敷地
同上	1469番1	保安林	6,220.00	授産事業用地
同上	1469番2	保安林	1,093.00	授産事業用地
同上	1471番36	原野	950.00	一部作業活動用地
同上	1471番37	山林	3,098.00	一部作業活動用地
同上	1471番38	山林	1,148.00	一部作業活動用地
同上	1479番2	宅地	1,468.08	一部作業活動用地
三原市大和町下徳良字市場	2159番12	宅地	187.09	建物敷地
同上	2159番13	宅地	211.68	建物敷地
三原市大和町箱川	1481番2	宅地	327.50	建物敷地
同上	1481番4	宅地	4,816.20	建物敷地
同上	1502番1	宅地	1,348.25	建物敷地
同上	1502番2	宅地	3,360.00	建物敷地
同上	1503番1	宅地	5,745.31	建物敷地
同上	1503番2	宅地	1,148.62	建物敷地
同上	1596番	宅地	6,011.03	建物敷地
同上	1640番1	宅地	4,294.88	建物敷地
同上	1478番1	保安林	6,370.00	一部作業活動用地
同上	1479番1	保安林	5,287.00	一部作業活動用地
同上	1480番1	保安林	762.00	一部作業活動用地
同上	1480番2	保安林	306.00	一部作業活動用地
同上	1481番1	保安林	5,264.00	一部作業活動用地
同上	1481番3	保安林	2,269.00	一部作業活動用地
同上	1483番	宅地	7,001.74	一部作業活動用地
三原市本郷北三丁目	4570番1	宅地	388.00	建物敷地
同上	4571番	宅地	556.00	建物敷地
同上	4572番	宅地	1,231.00	建物敷地
同上	4575番	宅地	897.00	建物敷地
同上	4576番	田	1,580.00	作業活動用地
同上	4578番1	宅地	1,123.00	建物敷地
同上	4579番1	田	605.00	作業用地
同上	4554番1	田	1,036.00	作業用地
同上	4552番1	田	1,353.00	作業用地

(2) 建物

所在地	番地	構造	面積 m ²	用途
三原市大和町箱川	1470番地2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平家建	1,039.35	大和農園(寄宿舍)
同上	同上	鉄骨造スレート葺平家建	240.30	大和農園(作業所)
同上	同上	木・ブロック造亜鉛メッキ鋼 板葺2階建	1階 44.71 2階 74.52	大和農園(教習所)
同上	同上	鉄骨造スレート葺平家建	200.00	大和農園(作業所)
同上	同上	鉄骨造スレート葺平家建	35.89	大和農園(ホワイ)

同上	同上	木造瓦葺平家建	45.54	大和農園(研修所)
同上	同上	鉄筋コンクリート造瓦葺 2階建	1階 203.12 2階 187.01	大和学園(研修所)
同上	同上	コンクリートブロック造 陸屋根平家建	9.18	大和学園(ホワイ)
同上	同上	コンクリートブロック造 陸屋根平家建	2.10	大和学園(ホンプ)
同上	1470番地2 1469番地1	鉄筋コンクリート造かわら・ アルミニウム板ぶき2階建	1階 447.26 2階 508.73	大和学園(寄宿舎)
同上	1470番地2	鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建	1階 280.02 2階 275.60	もりの輝舎(研修所)
三原市大和町平坂字高鉢	10370番地36	鉄骨造スレート葺平家建	192.00	大和農園(作業所)
三原市大和町 下徳良字市場	2159番地12	木造瓦葺2階建	1階 62.10 2階 46.37	共同生活(3ホーム)
同上	2159番地13	木造瓦葺2階建	1階 62.10 2階 46.37	共同生活(4ホーム)
東広島市高屋町造賀	2829番地7	鉄骨造セメントかわらぶき 2階建	1階 215.30 2階 215.30	共同生活(8・9ホーム)
同上	同上	木造スレートぶき平家建	174.49	ふれあい館
同上	同上	鉄骨造スレートぶき平家建	288.00	食品加工所
三原市本郷北三丁目	4572番地	鉄骨造スレートぶき平家建	468.00	とよの郷(作業所)
三原市大和町箱川	1481番地4	木造スレート葺平家建	90.85	共同生活(1ホーム)
同上	1481番地4	木造スレート葺平家建	90.85	共同生活(2ホーム)
同上	1481番地4 1481番地2 1502番地1 1502番地2	木造かわらぶき平家建	265.51	共同生活 (研修所・宿泊所)
同上	1481番地4 1481番地2 1502番地1 1502番地2	コンクリートブロック造 陸屋根平家建	16.62	共同生活(物置)
同上	1502番地1 1502番地2 1503番地1	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ 鋼板ぶき2階建	1階 238.16 2階 238.16	共同生活(研修所) (12・13ホーム)
同上	1502番地1 1502番地2 1503番地1	コンクリートブロック造 陸屋根平家建	15.80	共同生活(洗濯場)
同上	1502番地1 1481番地4 1503番地1	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板ぶき 平家建	788.64	大和学園(体育館)
同上	1502番地1 1481番地4 1503番地1	コンクリートブロック造 スレートぶき平家建	33.30	大和学園(便所)
同上	1502番地2 1481番地2 1481番地4 1503番地2	鉄骨造かわらぶき 平家建	600.02	共同生活 (研修所)(11ホーム)
同上	1502番地2 1481番地2 1481番地4 1503番地2	木造板ぶき2階建	1階 20.25 2階 13.50	共同生活(休憩所)

同上	1502 番地 2 1481 番地 2 1481 番地 4 1503 番地 2	木造かわらぶき平家建	79.22	共同生活 (居宅)(11ホーム)
三原市本郷北三丁目	4575 番地 4578 番地 1 4571 番地	鉄骨造合金メッキ鋼板 ぶき 3 階建	1 階 546.30 2 階 782.40 3 階 782.40	ルネサンスほんごう (障害者支援施設)